



## 地球のかおり

広大なオーストラリア大陸を車でゆく。内陸部に入ると、見渡す限りの赤い荒野。地図を見ても、沼一つない。遭難者が後を絶たないと聞いてはいたが、後悔先に立たず。灼熱の太陽に身を焦がされ、恐怖と不安に襲われた。と、突然、眼前にオアシスが。湖面は鏡のごとし、微動だにしない。あたりには山も川も見あたらない。おまえはどこから来て、どこへ流れてゆくのか。天に昇るのか？しばし湖水と会話した。

(夢絵作家 久楽迎古)

秘境の湖水

